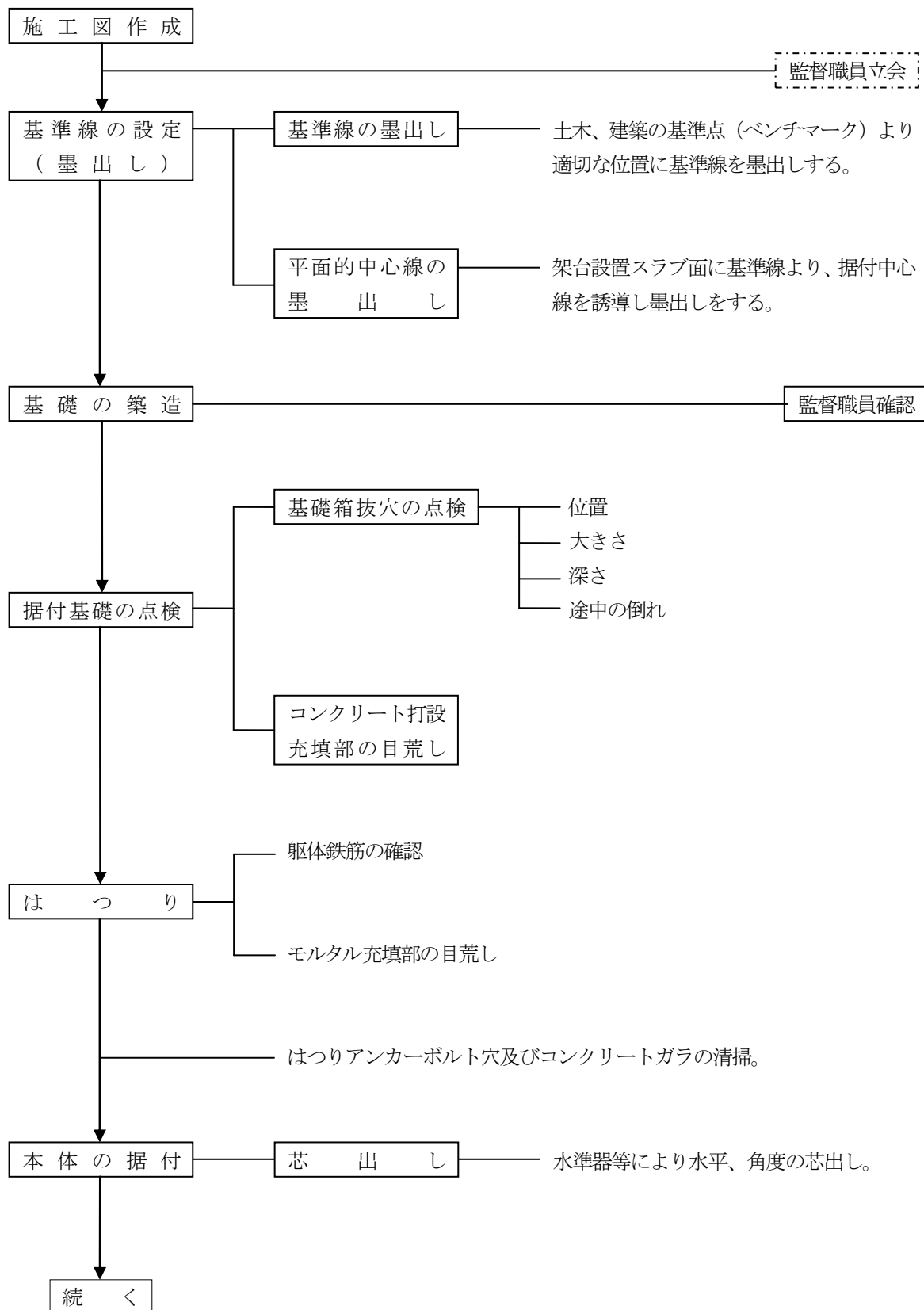


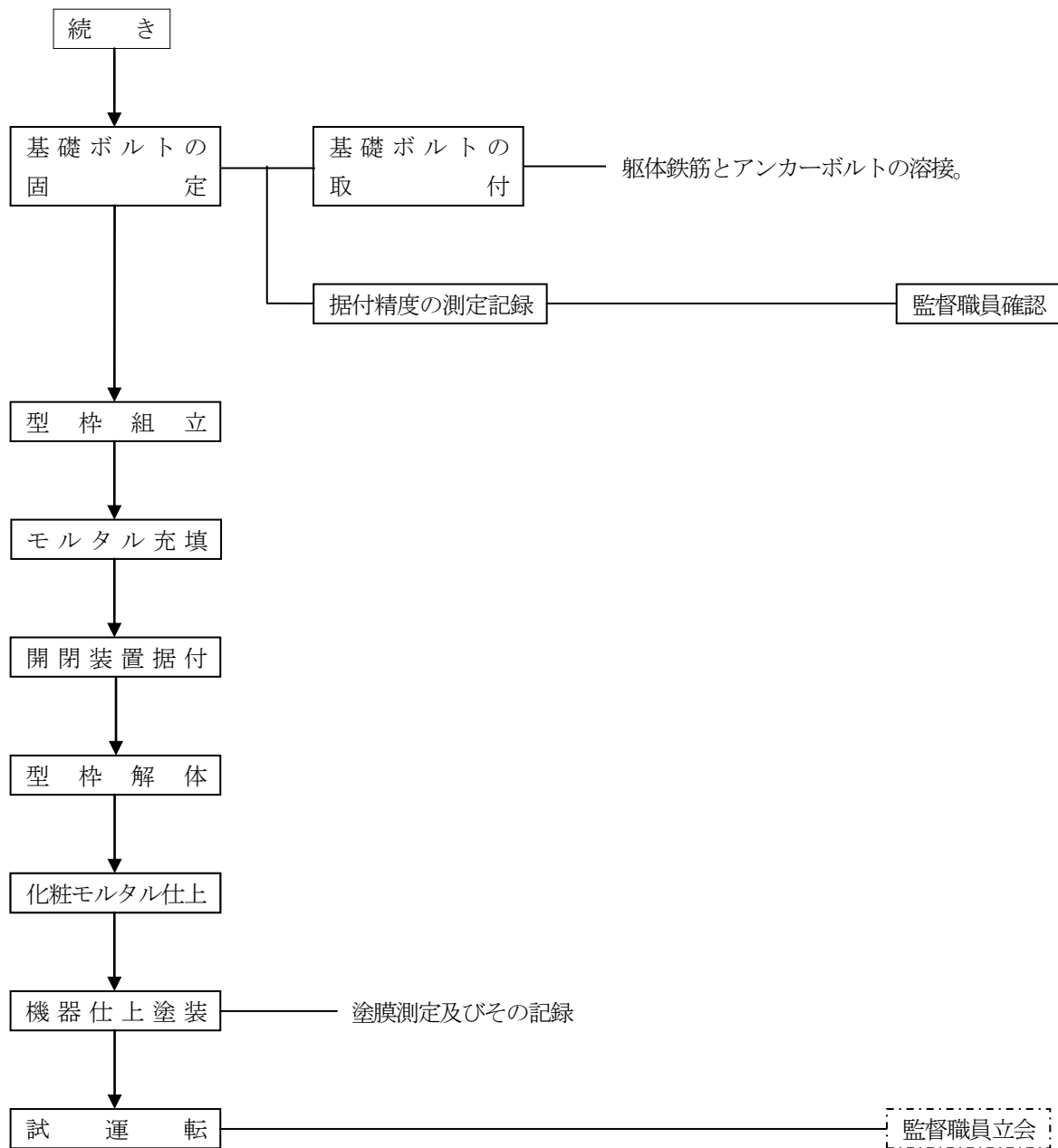
2. 3 除じん設備

(3) ホッパ

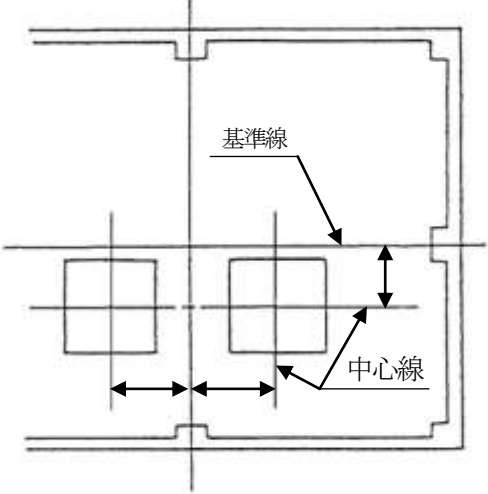
① 据付手順

(ア) ホッパ据付フローチャート

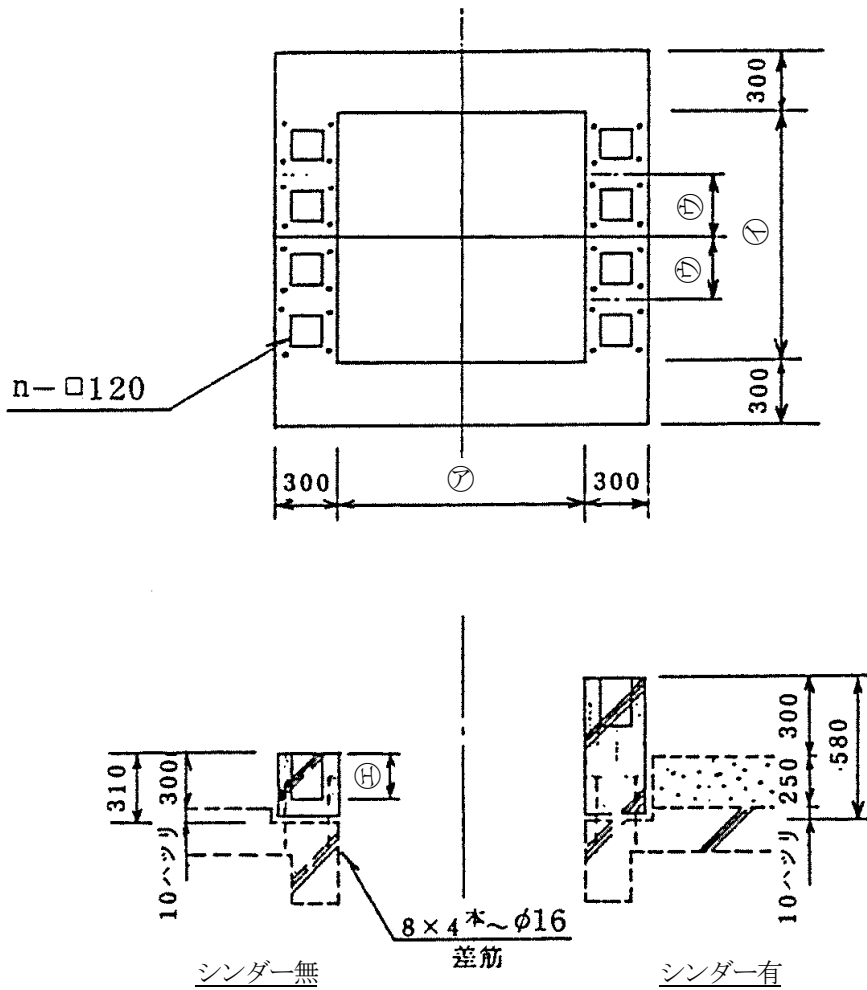




② 墨出し及び測定の要領

測定項目	測定要領	測定か所図
<p>基準線の設定</p>	<p>据付面の基準は、基準点（ベンチマーク）より誘導し、作業に便利な位置（ズラブ面又は、柱壁等）に副基準点を墨入れ、据付面レベルとの誤差を確認する。</p> <p>この場合、建屋の柱及び壁など建屋内の配置をチェックする。</p>	
<p>基準線の設定 機器の基礎アンカーボルト用箱抜き位置</p>	<p>機器中心線より基礎の寸法、アンカーボルト位置、箱抜き寸法等を図面により割出し、床に墨出しする。</p>	
<p>据付基準線に対する寸法確認</p>	<p>機器又は他機器の基準線と構造物の基準線（柱面、壁面）を基に、取り合い寸法を確認する。</p>	
<p>(注) (1) 複数台数ある場合には、相互の関連を充分考慮し、墨出しを行うこと。</p>		

③ 据付標準基礎図



記号 呼称容量	ア	イ	ウ	n (個)	エ
2 m ³					
3					
4					
5	1700	1900	500	16	200
6					
7					
8	2100	2100	600	16	200
10	2300	2300	700	16	200
12	2500	2500	800	16	200

単位：mm

設計条件・仕様	特記事項 基礎は鉄筋コンクリート ($\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$) とする	施工注意事項 (注記)	図面名称	ホ ッ パ (屋内、スラブ置) 据付標準基礎図
			図面番号	

④ 試験・試運転 (油圧開閉方式)

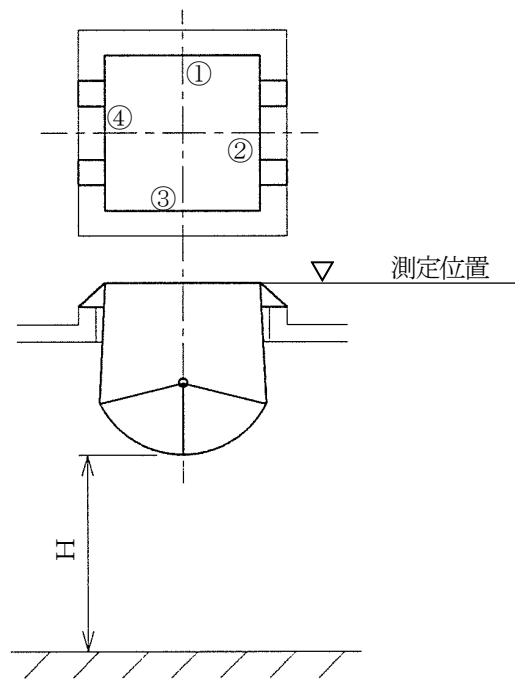
種別	試験内容	判定方法及び基準	記録事項	判定	摘要
運 転 準 備	絶縁抵抗値	動力及び制御回路の絶縁抵抗を測定し0.2MΩ以上であること。	絶縁抵抗値		電気設備技術基準による
	制御回路	制御回路のチェックを行い、各計器類が問題なく作動すること。			
運 転 確 認	開閉リミットスイッチ	全開、全閉位置で自動的にリミットが動作し、ホッパゲートが停止すること。			
	圧カスイッチ	異常圧力設定値において圧カスイッチが動作し、油圧ポンプが停止すること。			
	リリース弁	設定圧力に調整し、指定圧力で動作すること。			
	速度調節弁	ホッパゲートの左右の開閉速度が均一になること。			
	重量指示計	ホッパが空の状態、指示計の零調整の確認。			
	開閉操作	作動はスムーズで、シリンダー、バルブ、油ポンプ等からの異音、油漏れがないこと。			
	電圧	定格電圧の±10%以内であること。			
性 能 確 認	運転作動電流	定格電流値以下であること。			
	速度	設計値に対する確認。			

種別	試験内容	判定方法及び基準	記録事項	判定	摘要
運転準備	絶縁抵抗値	動力及び制御回路の絶縁抵抗を測定し0.2MΩ以上であること。	絶縁抵抗値		電気設備技術基準による
	制御回路	制御回路のチェックを行い、各計器類が問題なく作動すること。			
運転	開閉リミットスイッチ	全開、全閉位置で自動的にリミットが動作し、ホッパゲートが停止すること。			
	重量指示計	ホッパが空の状態、指示計の零調整の確認。			
確認	開閉操作現場操作盤	作動はスムーズで、ゲート本体開閉装置より、異常音及び異常振動が無いこと。			
性能確認	電圧	定格電圧の±10%以内であること。			
	運転作動電流	定格電流値以下であること。			
	速度	設計値に対する確認。			

⑤ 施工記録

ホツバ測定表

工事名称			
施工場所		測定年月日	
機器名称		測定者	
機番(No)		立会者	



測定項目	許容差	測定箇所			
		①	②	③	④
水平度	mm以下				
ゲート高さ	—	H=			

測定計器	
メーカー名	
形式	
精度	

ホツパ

